



道路建設産業労働組合協議会 〒104-8380 東京都中央区京橋 1-19-11 (NIPPO労働組合内)

電話 03 (3563) 6744

URL <http://www.doukenroukyou.com>

〈 2025 年 年頭挨拶 〉

道建労協加盟単組の組合員ならびにご家族の皆様、明けましておめでとうございます。

日頃より、道建労協の活動に対して多大なるご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

新年をご家族の皆様と共に明るくお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、年末年始にもかかわらず社会基盤を支えるため、業務に従事された皆様には心より慰労の意を表します。

昨年を振り返りますと、2024 年は元日に能登半島を襲った地震や線状降水帯による豪雨の多発等による自然災害に翻弄される一年でした。そのような中、夏に開催されたパリオリンピック・パラリンピックでの選手の活躍や大谷翔平選手の「50-50」達成などに元気づけられた方が多くいたと思います。世界に目を向けてみると、ロシアによるウクライナ侵攻が長期化するなか、パレスチナ自治区ガザでのイスラエル問題を含む地政学的緊張や、中国の不動産市場の停滞などが世界経済に様々な影響を与えています。2025 年のイベントは、1 月にはアメリカ史上 2 番目の大統領返り咲きとなるトランプ大統領が就任します。インフレやドル高円安が予想されており、日本にとっても大きな影響を及ぼす出来事になりそうです。4 月には大阪・関西万博の開催が予定されています。道路建設産業は仕上げる工程に大きく関係するため、開催までに適正な労働環境を守る事が出来ているのか注視していきたいものです。

我々建設産業に目を向けると、旺盛な発注に対し、建設業の働き手の不足は解消されない状況が悪化しています。建設資材・エネルギー価格の高止まりや、労務費の上昇等による工事原価の押し上げで、利益確保が難しい状況が続いています。

そして何よりも、建設業における時間外労働の上限規制適用が 2024 年 4 月から適用されました。確かに時間外労働は削減できましたが、依然として働く環境は、確実に上限規制を遵守できるとは言えない状況です。規制だけが先行して環境が取り残されているのは、いつまでもたっても理想の労働とはならないでしょう。変革の機運が高まっている今だからこそ、労使一体となり、過去から積み上げてきた大きな課題を乗り越えて、誰もが誇れる・誰もが憧れる労働環境を掴み取らなければ、みんなの「あたりまえ」を支える仕事である道路建設産業の存続はあり得ないのではないのでしょうか。

私達道建労協は、これからも皆さんの声をしっかりと受け止めながら、組織内での議論を深め、各団体、各企業に必要な施策を提言し、道路建設産業を志す若者が、希望を持って入職し、安心して働き続けられる魅力溢れる産業、行列のできる産業を実現するために活動していきますので、引き続きのご支援とご協力をお願い致します。

最後になりますが、本年が組合員の皆さんとご家族にとって健康で実りある素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

【 議長 加藤 幸宏 (NIPPO労働組合) 】



副議長 松本 崇
(東亜道路労働組合)

「ご安全に」
私たちは日頃から、それぞれの役割と立場で「初心・安心」という言葉を胸に、常に事にあたっていたいかなければなりません。が、仕事に就いた時の一丁目一番地は、二気に出勤・笑顔の「退勤」が基本動作であつたはず。しかしながら私たちの仲間が働く現場で、高齢ドライバーの運転する車が作業現場である規制帯に進入し、働く仲間の命を落とす労働災害が昨年 12 月末に発生しました。
働く場所は自らの幸せづくりの場でもあり、そこで命を落とすことがあつては絶対ならない訳であります。報告する側の辛さ、受ける側の心の痛みや苦しみ、亡くなられた方のご家族はもとより同僚や友人、そして関わる全ての人々に「心の痛み」を残していきます。
新年にあたり、「安全と健康であること」を互いの肝に銘じておきたいと思ひます。

7
ウェイ

企業・関係団体訪問

11月土曜閉所強調月間に際して、2024年度も10月初旬に各加盟単組企業本店や関係団体に対し、土曜閉所推進運動への協力要請を実施しました。また、2024年10月22日～25日にかけて四国・中国・九州地区の各加盟単組企業支店や関係団体についても協力要請を行いました。各社、地域によっては抱えている問題や悩みは多少異なりますが、総じて同じようであったと認識しております。

土曜閉所推進運動開始時と比較すると、閉所率は2倍以上と大幅に改善されてきましたが、近年頭打ちであるとアンケート結果からも見て取れます（P7参照）。多様化が進んでいる現代、働き方も様々ですが、4週8休の実現へ向けた新たな舵取りが必要な時期に差し掛かってきていると感じます。今後は、振休・代休を取得し振替加算率を向上させられるかが鍵となるでしょう。過渡期ではありますが、皆さんひとりひとりの取り組みで4週8休を実現させ、誰もが憧れる魅力ある道路建設業界にしていきたいと思います。

副議長 谷地 力重 （大成ロテック社員組合）

各加盟単組企業及び関係団体訪問（2024年10月2日～7日）

三井住建道路(株)	大成ロテック(株)	大林道路(株)
		
東亜道路工業(株)	前田道路(株)	フジタ道路(株)
		
(株)NIPPO	東京舗装工業(株)	日本道路建設産業協会
		
厚生労働省	国土交通省	日本アスファルト合材協会
		

地協のない地域の交流会

【四国地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問(2024年10月22日)

大林道路(株)・四国支店 	(株)NIPPO・四国支店 	前田道路(株)・四国支店 
日合協・四国地区連絡協議会 	道建協・四国支部 	

四国地区

2024年10月22日(火)に、道建労協四国地区交流会が開催されました。開催に至って、ご準備に尽力された皆さまに感謝申し上げます。

今回の交流会においては、土曜閉所強調月間の各単組の取り組みや働き方改革導入前と比較した現在の働き方が主な議題となりました。

各社業務時短の取り組みとして、様々な策を講じて改善を図っているが、業界特有の課題や顧客対応の影響から一律的な解決策は現状難しいと感じました。例えば公共工事は土日休工の取り組みが進んでいる一方、民間業者は顧客の要望により休日対応が必要となることが多い印象を受けました。引き続き、各社と意見交換を行い、情報共有をすることで、自社で取り組むべき施策を積極的に取り入れる機会となればよいと考えます。

また、交流会の終了後には懇親会もありました。普段、同業他社の方とお話する機会はありませんため、各社の状況など意見交換ができ、大変有意義な会となりました。ありがとうございました。

大島 悠莉 (NIPPO 労働組合)



【中国地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問(2024年10月23日～24日)

大林道路(株)・中国支店	前田道路(株)・中国支店	東亜道路工業(株)・中四国支社
		
大成ロテック(株)・中国支社	道建協・中国支部	日合協・中国地区連絡協議会
		

中国地区

2024年10月23日(水)に道建労協中国地区交流会が開催されました。冒頭に本部役員より土曜閉所推進運動の歴史や現在の状況について説明し、その後は各単組出席者より職場環境や働き方等について発表・意見交換を行いました。働き方改革施行の前後で比較すると、官公庁工事を中心に休日確保しやすくなったと感じる一方で、中堅職員への負担やシステム化に伴う業務が増えたという意見が上がりました。

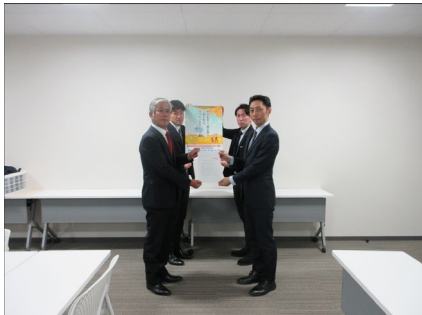
その他にも様々な意見が発表されましたが、参加者の皆さんが首を縦に振って頷くことが多く、どの会社も置かれている状況や悩み事は共通しているのだと強く感じると共に、道建労協という横の繋がりを活かして情報共有・課題解決をしていくのが我々本部役員の使命であることを再認識しました。

昨年に続き交流会後には懇親会も開催することができ、参加者の皆様のご協力により大変有意義な会となったことに感謝申し上げます。

副議長 森 周平 (大林道路職員組合)



【九州地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問(2024年10月24日～25日)

東亜道路工業(株)・九州支社 	大成ロテック(株)・九州支社 	前田道路(株)九州支店 
大林道路(株)・九州支店 	(株)NIPPO・九州支店 	日合協・九州地方連絡協議会 
道建協・九州支部 		

九州地区

2024年10月24日(木)西鉄ホテルクルーム博多において、「道建労協 九州地区交流会」が開催されました。冒頭に本部役員より、道建労協の活動である11月の土曜閉所推進運動について説明があり、各単組出席者の土曜閉所推進運動や時短活動の具体的な取り組みを発表し、情報共有及び意見交換を行いました。

意見交換会には、20歳代の若手から50歳代のベテランまで様々な年代の組合員が集まりました。若手からは、社内の自分の上司には、直接言えない不満や意見があり、同業他社のベテランの方々も普段、自分の部下からは直接聞けない意見を目の当たりにし、考えさせられる場面がありました。会社という縦社会のなかでは、上から下への一方的な指示が基本となりますので、世代間の意識の違いを相互に理解し合う機会は少ないため、このような意見交換会は、特にベテランの方々には良い気づきの場になったと思います。



事務局長 尾崎 浩司 (前田道路労働組合)

ホームページのご紹介

道建労協では、加盟単組組合員への更なる情報発信ツールとして、ホームページを開設しております。
本部や地協の活動状況の報告に加えて、旬な話題・旬な情報を随時発信しています！
皆さん、奮ってアクセスして下さい！



<http://www.doukenroukyou.com>

検 索



組合員意見交換会

2024年11月8日（金）アートホテル日暮里ラングウッドにて組合員意見交換会が開催され、各単組の20代・30代の組合員、道建労協本部役員、オブザーバーとして参加いただいた日建協（日本建設産業職員労働組合協議会）を合わせて総勢48名の方に参加いただきました。

初めに加藤議長の挨拶、続いて各自簡単な自己紹介を行った後にグループ討議を実施しました。議題は【緊急時の業務に対してどのような心構えでいるのか】【道路建設産業の10年後の理想像を考える】の2つであり、20代と30代で仕事に対する意識に違いはあるのか？自分の考えや思いを初対面の人に対して表現すること、また、他人の意見を聞くことで新たな気づきを得ること等を目的として議論を行いました。同年代の者同士ということもあり、序盤からどのグループも非常に活発な議論が展開されており、自分が日頃考えていることとの共通点・相違点を共有できている様子でした。

意見交換会後の懇親会では更に深掘りした話や、自ら登壇して熱い思いを発表するなど大変な盛り上がりが見られ、参加者からは「初めは不安だったけど同年代だと話しやすいし是非また参加したい」という声も多くいただくことができました。

最後に、皆様のご協力をもちまして有意義な交流会となりましたこと、感謝いたします。

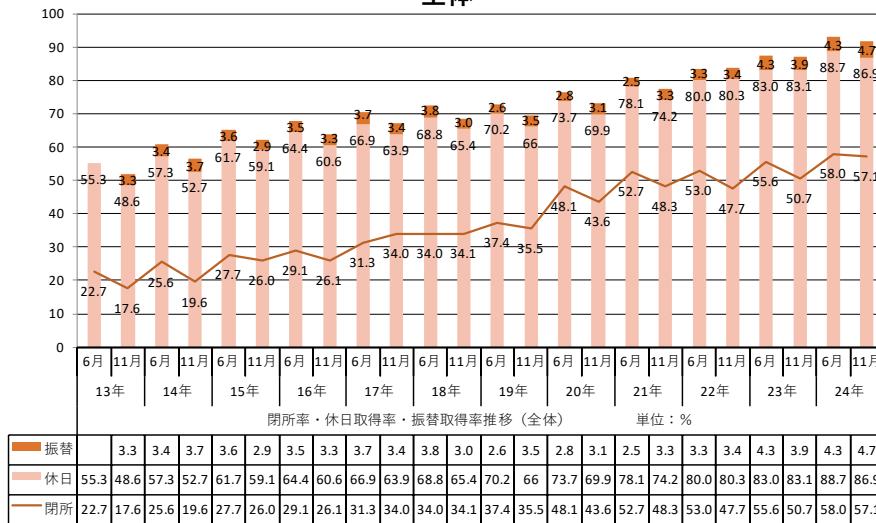
副議長 森 周平 （大林道路職員組合）



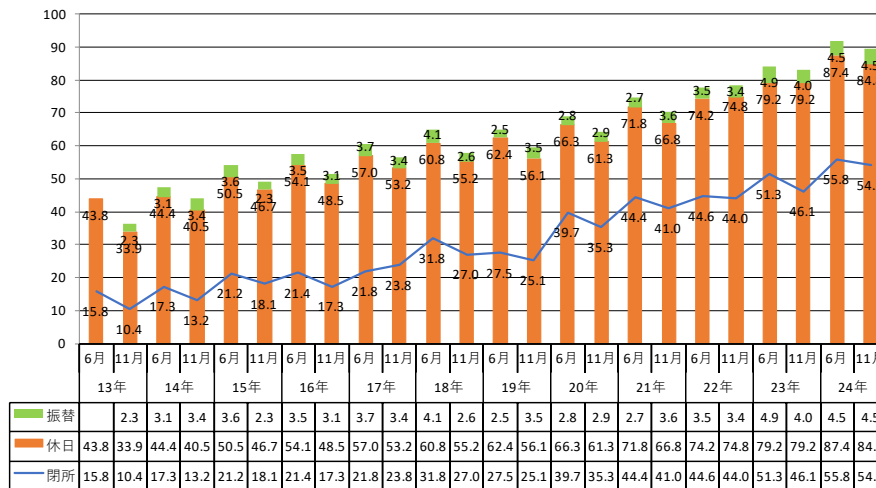
11 月土曜閉所アンケート結果(速報値)

※2024 年 11 月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途発行の「PAVE 番外編」に掲載いたします。

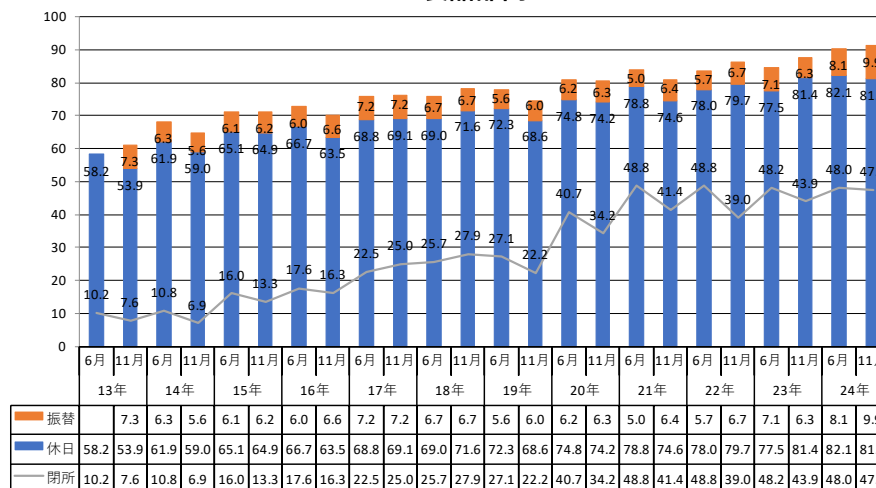
全体



工事部門



製品部門



物知りクイズ

正解者の中から抽選でクオカードをお送りします！

明けましておめでとうございます。皆様、年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。
時が経つのは早いもので2025年も2週間が経過しようとしております。
今回は我々の活動についてもっと知りたいという強い思いから、道建労協にまつわるクイズを出題いたします。
今更何をおっしゃいますかという方も、若かりしあの頃を思い出し復習もかねて挑戦してみてください！
なかなかイメージがわからないという方のためにもやさしい問題を用意していますよ！
これを機に道建労協の活動に興味を持っていただき、より活発な活動となる一助になれば幸いです。

Q1. 道建労協の正式名称はなんですか？

- ① 道路建設労働協会 ② 道路建設産業労働協議会 ③ 道路建設産業労働組合協会 ④ 道路建設産業労働組合協議会

Q2. 道建労協加盟単組はいくつあるでしょうか？

- ① 7 単組 ② 8 単組 ③ 9 単組 ④ 10 単組

Q3. 道建労協には何名の組合員がいるでしょうか？

- ① 約 1,000 人 ② 約 6,500 人 ③ 約 10,000 人 ④ 約 65,000 人

Q4. 土曜所推進運動で道建労協が特に重きを置いているものは次のうちどれでしょうか？

- ① 振替加算率（やむを得ず休日出勤した際は振休・代休を月内に取得し4週8休の実現を目指す）
② 業務改善率（自身の業務を棚卸し、職場内で調整し合い、効率化を目指す）
③ 生産性向上率（自身の業務を早く正確にこなすために創意工夫を図る）
④ 人員配置率（業務を標準化し適正な人数を各職場に配置する）

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 解答 ● 住所(会社宛の場合は会社名もご記入ください)
- 氏名 ● 所属単組名
- 今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
- 締め切り 2025年2月28日(金)
- 宛先 〒135-0051 東京都江東区枝川 2-13-1 前田道路労働組合内
道路建設産業労働組合協議会「PAVE」宛
FAX 03-6458-4085 E-mail: kumiai@maedaroad.co.jp

■ PAVE108号 物知りクイズ当選者

大林道路職員組合 江崎 郁生 様
NIPPO 労働組合 三宅 康平 様
NIPPO 労働組合 古川 和芳 様

以上3名です！！お忙しいところご応募いただきありがとうございます！！当選おめでとうございます！！

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

またPAVE109号をお読みいただきありがとうございます。

昨年2024年の世相を表す漢字が「金」に選ばれました。スポーツ、文化、政治まで確かに「金」にまつわる話題は多かったですが、2021年・2016年にも選ばれており、いずれもオリンピックで金メダルラッシュが起きた年だそうです。日本国民はとてもオリンピックが好き、ということでしょうか(笑)

金は太古の昔から普遍的な価値をもっています。さて、今年の干支は「巳」。変化や再生の象徴として、新たなステージへ移行するという意味合いを持つ年とされているそうです。ご存じのとおり、我々を取り巻く環境はすでに新たなステージに移行しています。変わるべきは我々自身。変化を恐れず、道路建設産業の価値を少しでも高める年にしていきましょう。

中央執行委員 米盛 健二 (NIPPO 労働組合)